





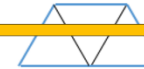



めあて 文字の役割について考えよう




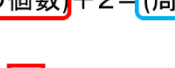
問題1

正三角形を20個つなげたときの周りの長さは何cmになるでしょう？

1辺1cm 正三角形	周りの長さ
1個 	3 cm
2個 	4 cm
3個 	5 cm
20個  ...	? cm




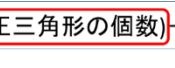
1辺1cm 正三角形	周りの長さ
①個  +2 →	③ cm
②個  +2 →	④ cm
③個  +2 →	⑤ cm
②①個  +2 →	②② cm

文字には、□や△と同じ役割があります。

1辺1cm 正三角形	周りの長さ
1個 	3 cm
2個 	4 cm
3個 	5 cm
20個  ...	22 cm

(正三角形の個数) + 2 = (周りの長さ)

□ + 2 = △

1辺1cm 正三角形	周りの長さ
1個 	3 cm
2個 	4 cm
3個 	5 cm
20個  ...	22 cm

$x + 2 = y$

(正三角形の個数) + 2 = (周りの長さ)

$x + 2 = y$


いろいろと変わる数の代わりに使うのか。

数量を表す言葉の代わりに使うのだね。

そうすると数量の関係を式で表せるのだね。

問題2

さっきと反対に、周りの長さが100cmのとき正三角形は何個になるでしょう？

周りの長さ	1辺1cm 正三角形
100 cm	 ... ? 個

文字には、□や△と同じ役割があります。

(正三角形の個数) + 2 = (周りの長さ)

□ + 2 = 100

□ = 100 - 2

□ = 98 (個)

$x + 2 = y$

$x + 2 = 100$

$x + 2 = 100$

$x = 100 - 2$

$x = 98$ (個)

一方の文字に数をあてはめると、もう一方の文字にあてはまる数が求められるのだね。

分からない数を表せるのだね。

まとめ 文字には、□や△と同じ役割がある